

その③ ~岩手県出身の漫画登場人物~

岩手県を出身とする主な漫画の登場人物を、出身市町村ごとにまとめたマンガマップです。

盛岡市

夏木六三四

「六三四の剣」

村上もとか (小学館)



主人公。剣道の達人である両親のもとに生まれ、幼い頃より剣の修行に励む。全編岩手が舞台の少年マンガ。

藤田光介

「コスモス楽園記」

ますむら・ひろし (扶桑社文庫)

主人公。番組制作の下調べのためロバス島を訪れる。本作は、直立で歩き日本語を話す猫たちが住む不思議な島・ロバス島の物語。

九戸郡

藤堂伍一

「ゴルゴ13」

さいとう・たかを

(小学館/リイド社)

アメリカに支店を構える日本企業のビジネスマン。ゴルゴの銃弾により数奇な運命をたどる。

紫波町

草加拓海

「ジパング」

かわぐちかいじ (講談社)



主人公の一人。未来からタイムスリップしてきた海上自衛隊イージス艦「みらい」に救助されたことにより後世の歴史を知り、改変に乗り出す。

釜石市

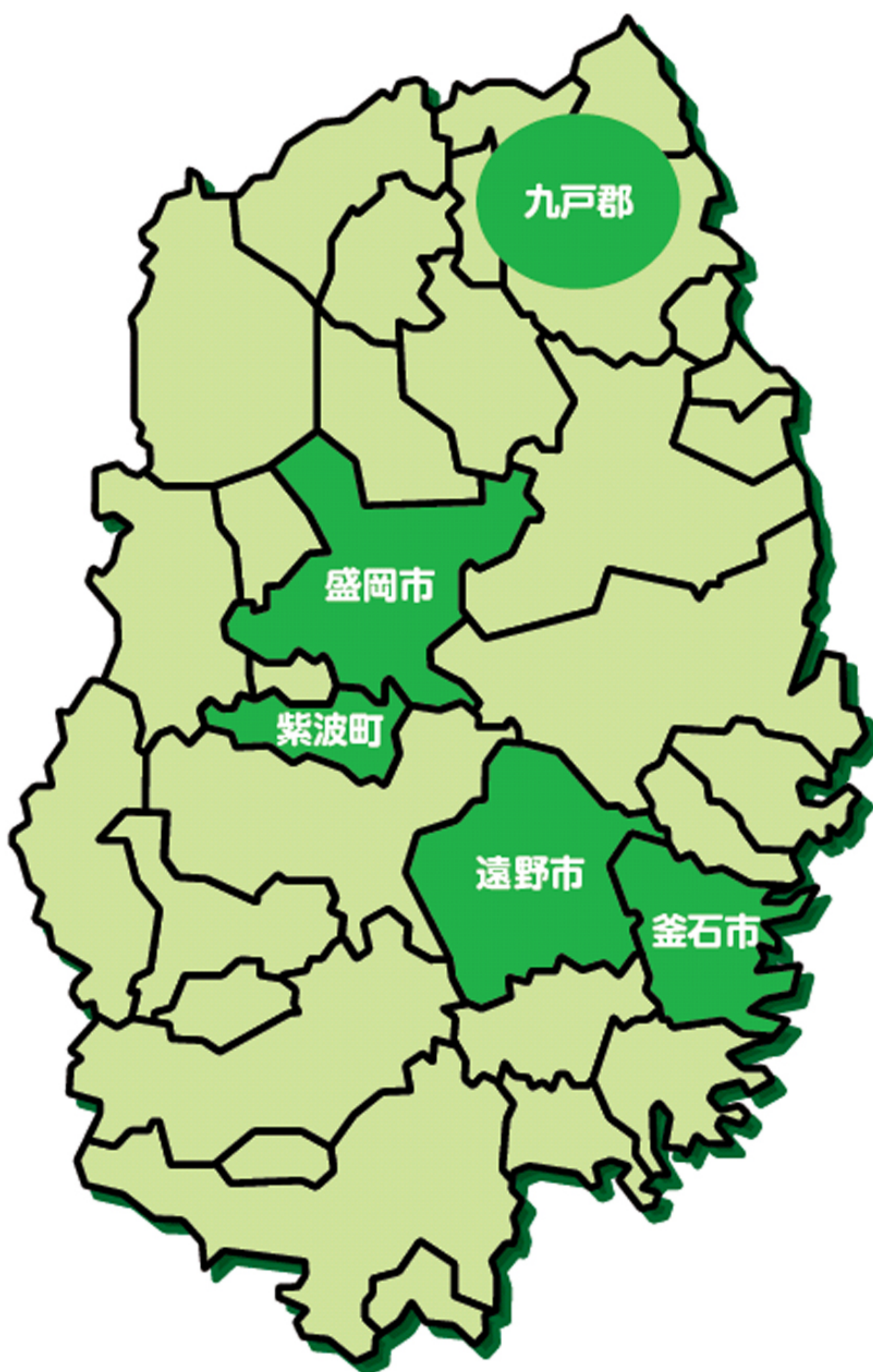
太田功

「機動警察パトレイバー」

ゆうきまさみ (小学館)



警視庁警備部特科車両二課(パトレイバー)の隊員で、操縦担当。一本気で熱血漢な性格。



遠野市

菊池ユメ

「魔法遣いに大切なこと」

よしづきくみち (原作:山田典枝)

(富士見書房)

主人公。魔法遣いの国家資格を取るため、夏休みを利用して東京へ研修を受けに出かけて行く。



コッコちゃん

「東京都新宿区歌舞伎町プッチョホーム」

佐藤智一

(小学館)

主人公。新宿歌舞伎町にある24時間営業の託児所プッチョホームで働く新米保育士。



鷹取小夜

「うしおととら」

藤田和日郎

(小学館)

主人公が旅の途中で出会う少女。鷹取家に代々つかえる「白い髪の女」の血筋で、不思議な能力をもつ。



©藤田和日郎/小学館

その他・岩手出身の登場人物



ロン先生

「ロン先生の虫眼鏡」

加藤唯史(原作:光瀬龍) (秋田書店)

SF作家・光瀬龍原作のほのぼの昆虫観察記の主人公。身近な生き物の生態をわかり易く解説する。



十三階段ベム

「浦安鉄筋家族」

浜岡賢次(秋田書店)

主人公の家の近所に住む、売れない怪奇漫画家。本作は千葉県浦安市を舞台にしたギャグマンガ。

©浜岡賢次/週刊少年チャンピオン



田鶴てい

「龍-RON-」

村上もとか (小学館)

本作のヒロイン。貧しい農家の生まれで、家族のため、京都の押小路家の下働きとして働くようになる。



賢治人事部長

「ぷりぷり県」

吉田戦車(小学館)

主人公の勤める東京の会社「五郎商事」の人事部長。

©吉田戦車/小学館



中島宗美

「鉄のラインバレル」

清水栄一/下口智裕(秋田書店)

山奥の村に暮らす実年齢70歳以上の青年。本作は、近未来の日本が舞台のロボットマンガ。

©清水栄一×下口智裕/秋田書店



高城ミユウ

「なぎさMe公認」

北崎拓(小学館)

主人公のライバルの一人。「褐色の魔術師」の異名をもつ長距離選手。

岩手種 「もえちり!」堂高しげる(講談社)

未曾有の危機の日本を救う為、全国から集められた47人の「ヒミコ」候補の一人。